

【海外】転学奨学金継続願

なお、返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

記入日	(西暦) 年 月 日				生年月日	(西暦) 年 月 日 (満 歳)					
奨 学 生 番 号					フリガナ						
			0			氏名	(自署)				

前在籍校		転学した学校	
学校名		学校名	
学部・課程、学科名		学部・課程、学科名	
国・地域名		国・地域名	
最終在籍年月	年 月 退学／卒業・修了 (該当に○)	転学年月	年 月 より在籍
		卒業(修了)予定年月 (貸与終期)	年 月 卒業予定
「奨学金貸与月額変更願(届)」の提出の有無 ☐ 提出しない ※転学奨学金継続の手続きに併せて貸与月額の変更を希望する場合は、 ☐ 提出する 「【海外】貸与月額変更願」を同時に提出してください。			転学後の卒業予定年月 ☐ 在籍証明書に記載の卒業予定期を記入した。 ☐ 学校担当者と相談の上、卒業予定期を記入した。

借用金額(予定)								円
----------	--	--	--	--	--	--	--	---

■連帯保証人・保証人記入欄

連 帯 保 証 人	機 構 届 出 の	私は、上記の貸与期間（終期）の延長等により貸与総額が増額することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしがって債務履行の責を負います。			
		住 所 〒 ー	電話番号 ()	実 印	生年月日 (西暦) 年 月 日
保 証 人	機 構 届 出 の	私は、上記の貸与期間（終期）の延長等により貸与総額が増額することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、本人が返還すべき返還未済額の3分の1を保証し、関係法令及び返還誓約書等にしがって債務履行の責を負います。			
		住 所 〒 ー	電話番号 ()	実 印	生年月日 (西暦) 年 月 日

■親権者又は未成年後見人欄

(本人が未成年者(18歳未満)の場合のみ記入)

上記の者が現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

本人が未成年者(18歳未満)の場合は親権者の同意を得てから親権者欄に記入してください。後見人がある場合は同じく後見人の同意を得たうえで記入してください。

親 権 者 又 は 未 成 年 後 見 人	(親権者1又は・未成年後見人)		
	住 所 〒 —		
	氏 名 (自署)	電話番号	()
	(親権者2)		
	住 所 〒 —		
	氏 名 (自署)	電話番号	()

ご記入いただいた情報とあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務（返還業務を含む）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機密保証に加入者については、機密が保有する個人情報のある保証管理に必要な情報が保証機関に提供されますが、また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

[様式14-裏]

重 要

前在籍校の最終在籍年月をもって奨学金を「休止」する必要があります。前在籍校を退学する月の前月10日までに異動願(休止)を提出してください。転学した学校で引き続き奨学金を貸与するためには、前在籍校の退学月から1年以内に転学し、本様式及び添付書類を転学後3か月以内に提出してください。承認されると転学した月に遡って貸与奨学金の振込を再開します。

添付書類

- 前在籍校の最終在籍年月が確認できる卒業・修了証明書又は成績証明書(日本語訳添付)
- 次の(a)～(f)の内容が記載された、転学した学校の在籍証明書(日本語訳添付)
(a)発行日 (b)本人氏名 (c)学校名、学部・学科・専攻(コース名) (d)転学年月日 (e)取得できる学位 (f)卒業予定年
- 次の(a)～(f)の内容が記載された単位移行が確認できる、転学した学校の履修・成績証明書(日本語訳添付)
(a)発行日 (b)本人氏名 (c)転学した学校名 (d)前在籍校名 (e)移行された単位数 (f)移行された科目名
※在籍証明書に「〇〇大学からの転入学生である」旨の一文がある場合は、単位移行証明書の提出は不要です。
- 前在籍校と転学した学校のアカデミックカレンダー(前在籍校は最終試験/授業月に、転学した学校は学期開始月と最終試験/授業月にそれぞれ日本語訳を添付)
- 【借用金額が増加する場合のみ】連帯保証人の印鑑登録証明書(原本)
- 【借用金額が増加する場合のみ】保証人の印鑑登録証明書(原本)

提出期限

- 転学日から3か月以内(転学前には提出できません)
※3か月以上経過して提出する場合は、提出遅延の理由を記した事情書(書式任意)の添付が必要。

借用金額の記入例

例) 当初の貸与期間(予定) : 2024年4月～2028年3月(48か月)
当初の借用金額(予定) : 増額 300,000円+ (月額 50,000円×48か月) = 2,700,000円

* 2026年3月にA大学を退学(貸与奨学金は休止)。2026年10月にB大学へ転学、卒業が2029年9月に延期
A大学での貸与期間: 2024年4月～2026年3月(24か月)
A大学での貸与月額: 5万円
B大学での貸与期間: 2026年10月～2029年9月(36か月)
B大学での貸与月額: 10万円(貸与月額を増額)

【計算式】

- ① 入学時特別増額貸与奨学金 : 300,000円
② A大学での借用金額(2024年4月～2026年3月) : 50,000円×24か月 = 1,200,000円
③ B大学での借用金額(2026年10月～2029年9月) : 100,000円×36か月 = 3,600,000円

①～③の合計 5,100,000円

※ A大学を退学した翌月からB大学に転学するまでの期間(2026年4月～2026年9月)は、奨学金の貸与を受けることができません(振込を休止します)。合計金額に含めないようご注意ください。

借用金額の訂正方法

「借用金額」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正してください。

- ① 本人署名横に本人印を押印する。

フリガナ	キコウ タロウ
氏名	機構 太郎 (奨学)

- ② 金額全体(1円の単位までのすべての数字)を二重線で消す。一部訂正不可。

借用金額 (予定)	4 2 0 0 0 0 0 円
--------------	--

- ③ 二重線の上から、本人印(本人署名横同一印)、連帯保証人実印、保証人実印を訂正印として押す。
※それぞれの印が重ならないように押印してください。

借用金額 (予定)	4 2 0 0 0 0 0 円	
本人	連帯保証人	保証人

- ④ 余白に正しい借用金額を記入する。

借用金額 (予定)	510000円	
本人	連帯保証人	保証人